

図解入門業界研究

『最新 水ビジネスの動向とカラクリがよ〜くわかる本』

著者：吉村 和就（著）

発行所：株式会社秀和システム

A5版 224頁

発行日：2012年9月10日

定価：1,400円＋税



<推薦の理由>

国連テクニカルアドバイザーとして、講演や関連業界紙・専門誌の寄稿、テレビメディアでの水問題をわかりやすい解説をなされ、水の安全保障戦略機構・技術普及委員長、経済産業省「水ビジネス国際展開研究会」委員などもされている日本を代表する水の第一人者・吉村和就氏が、「水問題と水ビジネスの現状について」可能な限り広い視野から紹介しようという企画から生まれた書籍です。

「水ビジネス」は2025年には約87兆円達すると予測され、日本の自治体と企業の連携による水ビジネスの展開が進んでいます。水資源開発から上下水道事業、下水の再利用など水にかかわるすべてのビジネスの概要を解説した業界入門書です。日本では水道の蛇口をひねればいつでも好きなだけ水を使うことができます。しかし、世界では水の確保に国を挙げて取り組んでいる国々も珍しくなく、海外に食料の多くを依存する日本にとっても他人事ではありません。本書では、世界の水問題、水ビジネスの歴史と課題、最新の水処理技術の仕組み、主要な関連企業の事業展開、また日本の国家戦略と地方自治体が行っている取り組みな

どを図解でわかりやすく解説しています。

各章の内容は章ごとに完結しているため、興味のあるところから読み始めることができる実務書になっていますので、建築設備技術者の必携書として推薦いたします。

<主要目次>

はじめに

第1章 世界の水に押し寄せる危機

1-1 地球規模の水不足時代が到来①、1-2 地球規模の水不足時代が到来②、1-3 地域紛争の火種となる水不足、1-4 気候変動が与えるインパクト 他

第2章 水ビジネスの全体像

2-1 世界の水ビジネスの始まり、2-2 日本の水ビジネスの始まり、2-3 水ビジネスが及ぶ範囲、2-4 水ビジネスの市場規模、2-5 上水道事業①水源開発 他

第3章 水ビジネスで注目される最新技術

3-1 多様な浄水処理法、3-2 膜処理による下水処理技術（MBR）、3-3 再生水技術、3-4 主要な海水淡水化技術、3-5 水道漏水対策技術 他

第4章 世界各国の水ビジネスの最前線

4-1 アメリカ 大国に忍び寄る水不足、4-2 ヨーロッパ①フランスの技術戦略、4-3 ヨーロッパ②イギリスとその他の国の動向、4-4 中国 世界が狙う水市場 他

第5章 水ビジネス国外主要企業

5-1 ヴェオリア・ウォーター、5-2 スエズ・エンバイロメント、5-3 テムズ・ウォーター・ユーティリティーズ、5-4 アイビーエム（IBM）他

第6章 水ビジネス国内主要企業

6-1 水処理プラントメーカー①概要、6-2 水処理プラントメーカー②日立プラントテクノロジー、6-3 水処理プラントメーカー③wing 他

第7章 日本の国家戦略と水ビジネスの将来像

7-1 水ビジネスの国家的な取り組み、7-2 産学官による研究会の発足、7-3 企業の横断的な取り組み、7-4 事業権獲得に向けた行政の支援策 他

資料編

世界の水事情、日本の水事情、世界の水ビジネス市場、海水淡水化と膜技術、日本の水ビジネス戦略

索引

（紹介者：（株）アカギ 近藤 茂）